

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201

ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 331 号 / 2017.4

Index

- 平成 28 年度 第 3 回 研究企画委員会 開催報告
- 地熱開発理解促進事業：福島県柳津町での熱水活用に関する講演
- 地熱開発理解促進事業：北海道八雲町での講演
- 会員の皆様へのお知らせ
 - 新規入会企業のご紹介
 - 平成 28 年度地下利用推進部会成果報告書発行
 - 退任挨拶
 - ビジネス講演会開催のご案内

■平成 28 年度 第 3 回 研究企画委員会 開催報告■

平成 28 年度 第 3 回研究企画委員会（委員長：池田謙太郎氏 清水建設(株)）が、3 月 15 日（水）に開催されました。

上田事務局長の協会挨拶、池田委員長の挨拶の後、委員長の司会により議事が進められました。なお、平成 28 年度第 3 回委員会より、(株)小松製作所では西澤泉様から高野史好様への委員交代がありました。

議題と議事内容の概要は、以下のとおりで、審議事項についてはいずれも承認されました。

1. 中期経営計画（平成 29-31 年度）（案）、平成 29 年度事業計画（案）および予算（案）について（審議）
2. 平成 27 年度 JKA 補助事業自己評価書（案）について（審議）

①離島における地熱資源の活用可能性調査

②国土強靱化に資する地下空間利用の調査研究

3. 平成 28 年度事業の進捗について（報告）

- (1)平成 29 年度補助事業テーマ候補（案）

①「地下情報の基盤モデルづくりに関する調査」～高度 IT 技術の設計・施工・維持管理への活用を目指して～（新規）

②「安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査」（継続）

- (2)平成 28 年度補助事業活動報告

①離島における地熱資源の活用可能性調査

②安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査

- (3)地下利用推進部会活動報告

①第 1 部会 地下歩道ネットワーク整備による快適な社会調査研究

②第 2 部会 エネルギー施設の強靱化調査研究

③第 3 部会 地下の立体的利用による都市生活基盤整備調査研究

④第 4 部会 交通網施設の強靱化に資する地下空間利用調査研究

- (4)平成 28 年度受託事業活動報告

①地熱開発理解促進関連事業に対する支援業務（長野県諏訪市、宮城県大崎市、群馬県中之条町、長野県大町市）

②地熱開発ポテンシャル評価業務（島根県企業局）

③地熱開発における規制とステークホルダーの意識等の調査検討（(株)ダイヤコンサルタント）

- (5)平成 28 年度研究会活動報告

①放射性廃棄物研究会

②小規模地熱発電・熱水活用研究会

③計測技術研究会

④老朽化インフラ対策研究会

- ⑤水素輸送・貯蔵研究会
- ⑥エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会
- (6)平成28年度地下情報化部会活動報告
- (7)平成28年度日帰り見学会・国内見学会

- 4.平成29年度「エンジニアリング功労者表彰・奨励特別賞」候補の推薦について
 - 5.その他
- 次回の平成29年度第1回研究企画委員会は2017年6月中旬の開催予定です。

■地熱開発理解促進事業：福島県柳津町での熱水活用に関する講演■

経済産業省平成28年度地熱開発理解促進関連事業に採択された福島県柳津町主催の「地熱2次利用セミナー」において、地熱プロジェクト推進室の奥村室長が「地熱2次利用の可能性について」と題し、講演しました。平成29年3月9日（木）14：00から柳津町役場西山支所で約23名が参加しました。

同町で、平成7年5月に奥会津地熱(株)が熱水を供給し、東北電力(株)が発電する柳津西山地熱発電所が出力65,000kwで運転開始しました。当時は、日本で最大の地熱発電所でした。同町では、平成27年度に熱水を活用して温室栽培、陸上養殖、製塩を実験していましたので、それらの事業をさらに進めるための役に立つ講演を求められました。

これまでエンジニアリング協会として、地方自治体を支援したり、先進地の見学等で得た熱水活用に関する情報をまとめて、説明しました。

講演内容の概要は、熱水活用事業及び有効性、全国の地熱発電所、熱水活用事例として、温室栽培、陸上養殖、その他の施設等の全国の事例について説明しました。

■地熱開発理解促進事業：北海道八雲町での講演■

北海道八雲町では、(一社)北海道再生可能エネルギー振興機構(以下、「振興機構」と称す。)が実施主体になって地熱開発理解促進事業を行っています。今回の報告する講演については、「八雲町八雲地域(鉛川地区)地熱開発」の第3回勉強会・第2回研修会の議題の一つとして、振興機構から依頼されたものです。

講演日は平成29年1月27日(金)で、講演場所は八雲町役場であり、振興機構担当者・八雲町

参加者からは、同町で、発電後の熱水を3km程度離れた西山地区に引いて、温室ハウス、陸上養殖、学校等の暖房等に多段階に熱水を活用する具体策について質問等があり、活発な意見交換をしました。

今後も、同町では熱水を活用して地域振興を図りたい要望がありますので、引き続き、情報交換することにしました。



奥村所長の講演風景

担当者および協議会メンバーの参加の下、地熱プロジェクト推進室の百田副室長が講演を行ってきました。協議会メンバーは、開発事業者、地元の温泉事業者、自然保護団体、商工会、漁場組合、森林組合等で構成されており、“地熱開発の熱水利用について”と題して講演を行いました。講演内容に対して、協議会メンバーから熱水利用に対する補助金制度や事業性について、2、3の質問もあり、補助金活用と事業性確保などに対する

考え方を補足説明も致しました。

八雲町（鉛川地区）では、現在のところ、地熱発電の規模は2MWでフラッシュ発電を想定されているとのことで、平成28年9月よりJOGMECの助成を受けて、掘削調査も行われています。今後の地熱開発および地熱発電に伴う熱水利用事業の推進が期待されるところです。



百田副室長の講演風景

■ 会員の皆様へのお知らせ ■

□ 新規入会企業のご紹介

新たに当センターに入会された会員企業をご紹介します。

【会社名】

● 第一実業株式会社

DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

<http://www.djk.co.jp>

【本社所在地】

〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台四丁目六番地 御茶ノ水ソラシティ17F

【事業内容】

第一実業(株)は、1948年創業の独立系総合機械商社です。日本の産業の発展、成長とともに石油ガス開発・精製から石油化学、製紙、プラスチック、自動車、医薬品、エレクトロニクス、航空等の分野に進出、省エネ・低コスト・環境対応など、多

様化するニーズに先行する技術とノウハウの蓄積に取り組んできました。

現在17カ国34カ所に海外展開、設計開発・製造・エンジニアリング・メンテナンスを専門とするグループ会社を複数持ち、様々な分野のお取引先に設備からアフターサービスまでのトータルソリューションを提供しています。

エネルギー関連では海洋3D地震探査から掘削・生産・精製プラントで多数の実績を有し、近年地熱・バイオマス向けバイナリー発電設備の製造販売に着手して受注実績50基を超え、太陽光発電所の事業運営も合わせて再生可能エネルギーにも力を入れております。

□ 平成28年度地下利用推進部会 成果報告書発行

地下利用推進部会は、(公財)JKAより機械工業振興補助事業の補助金を受け、平成28年度より「安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査」をメインテーマとして2ヶ年計画で活動を開始しました。初年度に当たる平成28年度は、基礎的調査を実施し、この度、報告書を発行することができました。本調査では、国民生活や産業活動に密接にかかわりのある「地下歩道ネットワーク」、「エネルギー施設」、「都市生活基盤」、

「交通網施設」のインフラ4分野について調査研究を行ってきました。平成29年度は、安全・安心・快適な地下空間利用の効果的な方策について提案を行うことを目指します。

なお、この1年間の調査研究成果を共有して平成29年度に向けて活用すること、さらに各部会の委員の紹介と交流を目的として、合同成果報告会を開催します。地下利用推進部会に参加されている委員の皆様方、及び、その他の賛助会員の方々

も是非ご参加ください。参加をご希望の方は、事務局（gec-adm@ena.or.jp）までメールにてお申し込みください。

□退任挨拶

上田 正人（技術開発部 研究主幹）

この3月末をもちまして、2年間お世話になりました地下開発利用研究センターを退職いたします。皆様からのご指導、ご鞭撻をいただき無事任期を全うすることができましたこと、心よりお礼申し上げます。着任以来、地下センターで実施された種々の業務、会議の運営に携わることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。専門の地質分野に加え、新たに地熱開発や防災・減災に関する理解を深められたことも大きな収穫でした。特に、補助事業の国土強靱化に係る防災対策で先行する地方自治体や地下施設のヒアリング・現地調査の過程で、切迫する大規模災害への備えの最前線を目の当たりにし、改めて防災対策の重要性

1. 日時：平成29年4月14日（金）15:30～17:30
2. 場所：当協会A・B・C会議室
3. 報告：第1～4部会の活動報告

を認識することができました。また、研究会活動や懇親会の場を通じて、会員企業の皆様をはじめ、産官学に係る多くの方々と接する中で、公私の話題に関する広範な示唆をいただいたことを感謝しております。4月からは出向元の中央開発㈱に戻り、地質、原子力・再生エネルギーなどのエネルギー分野を担当し、技術開発、営業に携わる予定です。今後はENAAの講演会、事業などで、これまでとは違った立場で皆様にご指導、ご支援をお願いしたいと存じます。

末筆になりますが、今後の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、退職のご挨拶とさせていただきます。

□ビジネス講演会開催のご案内

< 第191回ビジネス講演会 >

日時：2017年4月13日（木）10:30～12:00

場所：当協会会議室

会費：講演会 無料（注、非会員5,000円）

主題：メンタルヘルスから経営哲学、世界観のヒントに～「マンガでみる禅の智慧」より～

講師：土居 征夫 様（学校法人城西大学 特任教授
イノベーションセンター顧問 理事長補佐）

禅のころは、宗教の枠を超えて、1000年近い歴史を経て日本人が練ってきた精神文化の真髄であり、ビジネスマンや社会のリーダーにも是非知ってもらいたいというのが土居先生のご見解です。こうした考え方を広めるため、最近、禅のころをマンガでわかりやすく紹介する入門書も書かれました。

本講演では、日本人が長年歴史的に培ってきた禅の世界観をご紹介いただくとともに、東のトランプ旋風、西の習近平の膨張など、これからの時代の実社会を生き抜くうえで役立つ禅の知恵について解説いただきます。

経営幹部や人事部門の皆様をはじめ、少しでも禅

にご関心のある皆様のお越しをお待ち申し上げます。

< 第192回ビジネス講演会 >

日時：2017年4月20日（木）10:30～12:00

場所：当協会会議室

会費：講演会 無料（注、非会員5,000円）

主題：企業価値向上と経営リスクへの対応事例

講師：平山 寧 様（東京海上日動火災保険株式会社
企業営業開発部・支援グループ）

企業の競争環境が激化し、企業価値を高めていくことが一層求められる中で、リスクを全社的視点で合理的かつ最適な方法で管理するERM(Enterprise Risk Management)の有効性が注目されています。東京海上GのERM対応状況、ERMとROE向上との関係、講演者が関わった事業会社のERMに対する取り組み姿勢について紹介させていただきます。

経営幹部や経営危機管理部門の方をはじめ、皆様のお越しをお待ちしております。

お問い合わせ先

・・・ 企画渉外部 TEL：03-5405-7201 ・・・